

がそびえていると感じました。

したがって、この言葉がひとり歩きして、科学者、芸術家が互いに「硝子」で、「見る」ことができるという錯覚を起こしては困るという“危険な言葉”とも言えます。

その点、寅彦がやはり、偉いと思うのは、『柿の種』の冒頭に書いたように、「ガラスは初めから曇っていることもある」、「ちりによごれて曇っていることもある」ということを、よく知っていたことでしょう。そこに、寅彦は科学者であるとともに、芸術家であり得た所以があるのでしょう。それに、僕も君も「硝子」であるといえるほど芸術の世界に接してはいないのではないのでしょうか。つまり、「硝子」といえたのは、宇吉郎だからであり、いかえると、宇吉郎もまた寅彦と同じように、芸術の世界に住む人たちと深い交流があったからこそ、「硝子」といえたのでしょう。

「硝子は曇る」、これが、この言葉への注釈として必要であり、その点で、私は、寅彦の『柿の種』の言葉

の方が好きです。

しかし、君の「顛末」のような文章が学会の機関誌「天気」に載るのも、「硝子の曇り」が、うすれてきたことを示しているとも解釈され、ご同慶の至りです。

2003年7月、札幌で開催される第23回国際測地学地球物理学連合(IUGG)総会で「Nakaya(中谷)-Magono(孫野)記念セッション」があるのは嬉しいことです。

手紙は以上だが、思うに、ともすれば、ものの見方、考え方に、とかく上辺だけに陥りやすい昨今の風潮に思いを巡らせ、何かの機会に一寸考える縁になればと感じ投稿した次第である。

#### 参 考 文 献

菊地勝弘, 2002: 中谷先生が書かれた「硝子の壁」の顛末, 天気, 49, 423-427.

中谷宇吉郎, 1947: 『寺田寅彦の追想』, 甲文社, 319pp.

寺田寅彦, 1933: 『柿の種』, 小山書店, 224pp.



## 熱帯降雨観測衛星 (TRMM) の研究公募について

宇宙開発事業団では、1997年11月27日に打ち上げられた熱帯降雨観測衛星 TRMM に関する研究公募 RA (Research Announcement) を行い、TRMM 衛星データを用いた研究を、国内外の個人あるいは団体を対象に広く募集します。TRMM はこれまでの約6年間で大気/降水現象や気候学研究に有用なデータを蓄積してきました。このようなデータを積極的に用いた創造的かつ建設的な研究の応募を期待します。

### 1. TRMM 概要

TRMM (Tropical Rainfall Measuring Mission) は世界で初めて人工衛星からの降雨観測を行う衛星です。TRMM では熱帯域の降雨を定量的に把握することにより、エネルギー・水循環の解明と、大気大循環に与える影響を明らかにすると共に、気候変動の予測、異常気象、自然災害の予防などを目的としています。搭載するセンサは、降雨観測レーダ(PR)、TRMM マイクロ波観測装置(TMI)、可視赤外観測装置(VIRS)、

雲及び地球放射エネルギー観測装置(CERES)、雷観測装置(LIS)の5つです。

### 2. 応募要項

今回のRAの募集要項は、地球観測利用研究センター(EORC)のTRMMホームページに掲載します。下記URLをご参照ください。

[http://www.eorc.nasda.go.jp/TRMM/index\\_j.htm](http://www.eorc.nasda.go.jp/TRMM/index_j.htm)

### 3. お問い合わせ先

〒104-6023 東京都中央区晴海1-8-10

晴海アイランドトリトンスクエア

オフィスタワーX棟23階

宇宙開発事業団地球観測利用研究センター

TRMM RA事務局 山根憲幸

Tel: 03-6221-9017, Fax: 03-6221-9191

e-mail: trmmcont@eorc.nasda.go.jp